

わたしの聖戦

◎◎女性が働くということ◎◎22

医学ジャーナリスト 植田美津江

韓流に何思う

いったい何が起こっているのだろうか。

今年になって大ブレイクしている、いわゆる「韓流」ブームである。

正直これを「はんりゅう」と読むことさえ知らなかった私だが、ドラマ「冬のソナタ」に主演のヨン様ことペ・ヨンジュンは今やテレビで顔を見ない日はなく、主題歌である甘いメロディーは町中にあふれている。ヨン様以外の韓国スターの人氣もすごい。

しかも、そのファン層はといえ、若者はもちろんのこと中高年の女性に集中しているというか

ら、戸惑いと驚きは増すばかり。いったい彼の何がそんなに日本女性を惹きつけるのか、好き嫌いとはまったく、この大ブームをまったく無視することとはちょっと難しくなっている。

周囲には「冬ソナ」を観たという者も韓国人気スターに熱をあげる者もないために、さてはこれから一連の現象は何者かの陰謀ではないかと思つていたが、それは間違いであることがある日わかつた。

何気なく地下の雑踏を歩いていると、すれ違ひざまに若い女性の話し声

が耳に入ったのだ。「ねえ！ 昨日ヨン様観た？」

それまで、ヨン様と口にしたこともなかった私は一瞬目を剥(む)き、次にこの種の女性の存在が本物であったことを知る。むむむ……、とただ



ペ・ヨンジュン

ただ唸(うな)るしかなかったのである。

また、先月仕事で10年ぶりに韓国を訪れたのだが、有名なロッテ免税店はヨン様一色と化していた。さすが人気俳優と感心したのだが、日本人の

観光客が「ヨン様」と口にするのを聞き、最初韓国の人々は「誰それ？」と不思議がったそう。ガイドさんによれば彼は韓国ではそれほど人気があるわけではないという。しかし、日本人客の多いロッテがヨン様と契約して以後、売り

上げは急増しているとも聞いた。下は舌足らずの女の子から上は80歳近くの女性まで、ヨン様の国めがけて日本人女性が多くなつてきているのだ。

もちろんこういつた動きを冷ややかに見ている人もあるが、そう突つ張らずにここはあつさり、この思いがけぬ現象を楽しんでみるのもいいかもしれない。それにしても、日本人男性のほとんどはあまり

面白くない様相である。これがブラビやレオなど明らかに違う遺伝子で構成されている白人男性ならあきらめもつくが、敵はほとんど見分けがつかない同じアジア人、しかも近い隣人である。さぞかし複雑な気持だろう。

「純粹でしかも男らしい」というのが韓国人男性に対するファンの言い分である。日本人男性が純粹さを忘れ、しかも男らしくないと言っているわけではないのだが、どうもそう聞こえているかのように、日本人男性にとってはあまり愉快でないのは確か。

ブームの行きつく先は見えないが、何だか今年も長いマフラーが流行りするかな気がしている。(株)日本メディアカル総研 代表取締役

イラスト・三浦義雄